

平成30年度第1回SPODネットワークコア運営協議会 議事次第

日 時・場 所：平成30年4月24日 ～ 平成30年5月8日（書面審議）

議 題：

1. ネットワークコア運営協議会の構成員等について
 - ・平成30年度ネットワークコア運営協議会構成員名簿 【資料1-1】…1
 - ・ネットワークコア運営協議会FD専門部会名簿（案） 【資料1-2】…3
 - ・ネットワークコア運営協議会SD専門部会名簿（案） 【資料1-3】…5
 - ・ネットワークコア運営協議会の構成員に関する申合せ 【参考資料1-1】…7
 - ・ネットワークコア運営協議会FD専門部会要項 【参考資料1-2】…9
 - ・ネットワークコア運営協議会SD専門部会要項 【参考資料1-3】…11
2. SPODフォーラム2018について
 - ・SPODフォーラム2018の開催について（スケジュール案） 【資料2-1】…13
 - ・SPODフォーラム2018プログラム（案） 【資料2-2】…15
 - ・SPODフォーラム2018ポスター発表募集要領（案） 【資料2-3】…17
 - ・SPODフォーラム2018ポスター発表募集要領送付先リスト 【資料2-4】…21
 - ・SPODフォーラム2018シンポジウム概要 【参考資料2】…23
3. SPOD事業評価について
 - ・平成29年度SPOD事業評価委員会委員（外部委員）による評価について 【資料3】…25
 - ・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」（SPOD）事業評価委員会要項 【参考資料3】…31
4. 平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会及びFD／SD分科会について
 - ・平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会議事概要 【資料4-1】…33
 - ・四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約の一部改正について 【資料4-2】…37
 - ・SPODへの新規加盟について 【資料4-3】…41
 - ・共同事業契約の終了及び再締結について（合意） 【資料4-4】…43
 - ・共同事業契約書 【資料4-5】…45
 - ・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿 【資料4-6】…53
 - ・平成30年度SPOD事業計画 【資料4-7】…55
 - ・平成30年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業予算 【資料4-8】…57
 - ・平成30年度共同事業契約における役割分担等について 【資料4-9】…61
 - ・平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」FD分科会議事概要 【資料4-10】…65
 - ・平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」SD分科会議事概要 【資料4-11】…69
 - ・四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約（平成30年3月29日現在） 【参考資料4】…73
5. SPODチラシの修正について
 - ・SPODチラシ（修正案） 【資料5】…77

6. 平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」会計監査結果について
 - ・平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」会計監査議事概要 【資料6】…79
7. 研修プログラムガイド2018について
 - ・SPOD研修プログラムガイド2018掲載プログラム一覧 【資料7】…81
8. 平成30年度大学人・社会人基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）【新任職員研修】について
 - ・平成30年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）
【新任職員研修】実施要項 【資料8】…83
9. 平成30年度次世代リーダー養成ゼミナールの開催について
 - ・平成30年度次世代リーダー養成ゼミナール実施要項 【資料9】…85
10. その他

平成30年度 ネットワークコア運営協議会構成員名簿

平成30年4月1日現在

大学名	所 属	氏 名	担当	FD専門部会委員	SD専門部会委員
徳島大学	総合教育センター教育改革推進部門 教授	川野 卓二	FD	○	
	総合教育センター教育改革推進部門 講師	吉田 博	FD	○	
	総合教育センター教育改革推進部門 助教	上田 勇仁	FD	○	
	総合教育センター教育改革推進部門 特任研究員	上岡 麻衣子	FD・事務	○	
	総務部人事課長	河野 信幸	SD		○
	総務部人事課副課長	早瀬 喜春	SD		○
	学務部教育支援課教育企画室長	福川 利夫	事務		
	学務部教育支援課専門職員	白田 智子	事務		
香川大学	大学教育基盤センター能力開発部長・教授	石井 知彦	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	葛城 浩一	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	佐藤 慶太	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 講師	西本 佳代	FD	○	
	教育・学生支援室修学支援グループ サブリーダー	圖子 賀津美	FD		
	教育・学生支援室修学支援グループ グループ員	白川 奈実	FD		
	経営管理室給与福利グループ リーダー	澤井 行広	SD		○
	経営管理室給与福利グループ チーフ	石田 和一	SD		○
	教育・学生支援室学務グループ リーダー	尾松 俊嗣	事務		
	教育・学生支援室学務グループ サブリーダー	中屋敷 美和	事務		
	教育・学生支援室学務グループ サブリーダー	後藤 雅美	事務		
	教育・学生支援室学務グループ チーフ	菊池 恵介	事務		
	教育・学生支援室学務グループ チーフ	安岡 嗣美	事務		
高知大学	大学教育創造センター 教授	塩崎 俊彦	FD	○	
	大学教育創造センター 准教授	立川 明	FD	○	
	大学教育創造センター 准教授	杉田 郁代	FD	○	
	大学教育創造センター 特任講師	高畑 貴志	FD	○	
	大学教育創造センター(兼務) 講師	俣野 秀典	FD	○	
	人事課長	沖 淳一	SD		○
	人事課労務管理係長	廣瀬 暢彦	SD		○
	人事課労務管理係係員	河瀬 由香里	SD		
	学務課課長補佐	西田 浩敏	事務		
愛媛大学	学務課総務係長	井上 博文	事務		
	学務課総務係事務補佐員	矢野 日菜子	事務		
	教育・学生支援機構副機構長／教育企画室長	小林 直人	議長・FD	○	
	教育企画室 講師	村田 晋也	FD	○	
	教育企画室 講師	仲道 雅輝	FD	○	
	教育企画室 教授	中井 俊樹	SD		○
	教育企画室 講師	清水 栄子	SD		○
	総務部人事課長	米田 健	SD		○
	総務部人事課人事・人材育成チーム チームリーダー	石川 尚	SD		
	総務部人事課人事・人材育成チーム チームリーダー	野本 幸代	SD		
	総務部人事課人事・人材育成チーム	芥川 幹	SD		
	教育学生支援部長	佃 雅之	事務		
	愛媛大学SD統括コーディネーター	吉田 一恵	SD		○
	教育学生支援部教育企画課長	織田 隆司	FD・事務	○	
	教育学生支援部教育企画課副課長	吉松 明子	SD・事務		○
	教育学生支援部教育企画課教育企画チームリーダー	五貫 恵美	事務		
	教育学生支援部教育企画課教育企画チームサブリーダー	藤原 力	事務		
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	小林 紘子	事務		

ネットワークコア運営協議会の構成員に関する申合せ(抄)
(組織)第2 協議会は、次の(1)～(4)に掲げる構成員をもって組織する。
(1) 議長
(2) 各コア校のFD担当者
(3) 各コア校のSD担当者
(4) 各コア校の事務担当者

ネットワークコア運営協議会FD専門部会名簿(案)
(平成30年4月1日現在)

大学名	所 属	氏 名	備 考
徳島大学	総合教育センター 教育改革推進部門 教授	川野 卓二	第3条第1号委員
	総合教育センター 教育改革推進部門 講師	吉田 博	第3条第1号委員
	総合教育センター教育改革推進部門 助教	<u>上田 勇仁</u>	第3条第1号委員
	<u>総合教育センター教育改革推進部門 特任研究員</u>	<u>上岡 麻衣子</u>	第3条第1号委員
香川大学	大学教育基盤センター能力開発部長 教授	石井 知彦	第3条第1号委員
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	葛城 浩一	第3条第1号委員
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	佐藤 慶太	第3条第1号委員
	大学教育基盤センター能力開発部 講師	西本 佳代	第3条第1号委員
高知大学	大学教育創造センター 教授	塩崎 俊彦	第3条第1号委員
	大学教育創造センター 准教授	立川 明	第3条第1号委員
	大学教育創造センター <u>准教授</u>	杉田 郁代	第3条第1号委員
	<u>大学教育創造センター 特任講師</u>	<u>高畑 貴志</u>	第3条第1号委員
	大学教育創造センター(兼務) 講師	俣野 秀典	第3条第1号委員
愛媛大学	教育・学生支援機構副機構長／教育企画室長・教授	小林 直人	第3条第1号委員
	教育企画室 講師	村田 晋也	第3条第1号委員
	<u>教育企画室 講師</u>	<u>仲道 雅輝</u>	第3条第1号委員
	教育学生支援部教育企画課長	<u>織田 隆司</u>	第3条第2号委員

※オブザーバー除く

ネットワークコア運営協議会SD専門部会名簿(案)
(平成30年4月1日現在)

大学名	所 属	氏 名	備 考
徳島大学	総務部人事課長	<u>河野 信幸</u>	第3条第1号委員
	総務部人事課副課長	<u>早瀬 喜春</u>	第3条第1号委員
香川大学	給与福利グループリーダー	澤井 行広	第3条第1号委員
	給与福利グループチーフ	石田 和一	第3条第1号委員
高知大学	人事課長	沖 淳一	第3条第1号委員
	人事課労務管理係長	廣瀬 暢彦	第3条第1号委員
愛媛大学	教育企画室 教授	中井 俊樹	第3条第1号委員
	教育企画室 講師	清水 栄子	第3条第1号委員
	総務部人事課長	<u>米田 健</u>	第3条第1号委員
	教育学生支援部教育企画課副課長	<u>吉松 明子</u>	第3条第2号委員
	愛媛大学SD統括コーディネーター	吉田 一恵	第3条第3号委員

※オブザーバー除く

SPODフォーラム2018の開催について

(趣旨)

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（ネットワーク略称＝SPOD）」の企画として、SPODの実施する研修プログラム等を集中的に提供する。

(主催)

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク／香川大学

(日時・会場)

日時 平成30年8月29日（水）～ 8月31日（金）

会場 香川大学 幸町キャンパス（高松市幸町1番1号）

(全体テーマ)

教職員のミニマムエッセンシャルズを考える

(シンポジウム)

大学教職員に今、何が求められるのか

(参加対象者)

1. 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」加盟校の教職員
2. 1. 以外で、高等教育機関に所属している方及び高等教育行政に携わっている方
 ※SPOD加盟校の参加者を優先する。
 ※民間企業に勤務している方の参加はお断りする。

(内容)

あらゆる立場の教職員が、その場でスキルアップにつながるような実践的なプログラムを提供する。

(研修料)

1. 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」加盟校の教職員 無料
2. 1. 以外で、高等教育機関に所属している方及び高等教育行政に携わっている方
 10,000円

(事務担当)

香川大学教育・学生支援室学務グループ

SPOD事務局（愛媛大学教育学生支援部教育企画課）

(今後のスケジュール（予定））

4月26日（木）	各コア校が担当するコマのタイトル・講師等の提出期限 （提出先：SPOD事務局（愛媛大学教育企画課））
5月上旬	ポスターセッション案内（SPOD加盟校を含む関係機関）
5月16日（水）	ポスターセッション申込開始
5月18日（金）	シラバスの提出期限 （提出先：SPOD事務局（愛媛大学教育企画課））
5月コア会議	ネットワークコア運営協議会においてプログラム最終確認
6月上～中旬	案内チラシ作成
6月 7日（木）	ポスターセッション申込締切（状況に応じ申込期間延長）
6月中旬	案内文書送付（SPOD加盟校を含む全国の大学）
6月21日（木） 正午	SPOD加盟校向け参加申込開始
7月 6日（金） 正午	SPOD加盟校向け参加申込締切
7月10日（火） 正午	SPOD加盟校外講師及びポスターセッション（代表者のみ）
7月11日（水） 正午	参加プログラム申込
7月13日（金） 正午	全国の大学（SPOD加盟校含む）の参加申込み開始
7月27日（金） 正午	全国の大学（SPOD加盟校含む）の参加申込み締切
8月上旬	二次募集（応募状況による）
8月29日～31日	SPODフォーラム2018開催

SPODフォーラム2018ポスター発表募集要領送付先リスト

番号	カテゴリ	大学名	備考	郵送／メール
1	APテーマⅠ アクティブ・ラーニング	徳島大学	SPOD加盟校	メール
2	APテーマⅠ アクティブ・ラーニング	県立広島大学		郵送
3	APテーマⅠ アクティブ・ラーニング	立正大学		郵送
4	APテーマⅠ アクティブ・ラーニング	京都光華女子大学		郵送
5	APテーマⅠ アクティブ・ラーニング	徳山大学		郵送
6	APテーマⅠ アクティブ・ラーニング	福岡工業大学		郵送
7	APテーマⅠ アクティブ・ラーニング	崇城大学		郵送
8	APテーマⅠ アクティブ・ラーニング	仙台高等専門学校		郵送
9	APテーマⅠ アクティブ・ラーニング	明石工業高等専門学校		郵送
10	APテーマⅡ 学修成果の可視化	横浜国立大学		郵送
11	APテーマⅡ 学修成果の可視化	北九州市立大学		郵送
12	APテーマⅡ 学修成果の可視化	八戸工業大学		郵送
13	APテーマⅡ 学修成果の可視化	東京女子大学		郵送
14	APテーマⅡ 学修成果の可視化	新潟工科大学		郵送
15	APテーマⅡ 学修成果の可視化	福岡歯科大学		郵送
16	APテーマⅡ 学修成果の可視化	富山短期大学		郵送
17	APテーマⅡ 学修成果の可視化	阿南工業高等専門学校		郵送
18	APテーマⅢ 入試改革	お茶の水女子大学		郵送
19	APテーマⅢ 入試改革	岡山大学		郵送
20	APテーマⅢ 入試改革	追手門学院大学		郵送
21	APテーマⅢ 高大接続	千葉大学		郵送
22	APテーマⅢ 高大接続	東京農工大学		郵送
23	APテーマⅢ 高大接続	愛媛大学	SPOD加盟校	メール
24	APテーマⅢ 高大接続	三重県立看護大学		郵送
25	APテーマⅢ 高大接続	杏林大学		郵送
26	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	宇都宮大学		郵送
27	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	金沢大学		郵送
28	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	山口大学		郵送
29	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	長崎大学		郵送
30	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	大阪府立大学		郵送
31	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	共愛学園前橋国際大学		郵送
32	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	芝浦工業大学		郵送
33	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	玉川大学		郵送
34	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	東京電機大学		郵送
35	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	東京理科大学		郵送
36	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	創価大学		郵送
37	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	産業能率大学		郵送
38	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	金沢工業大学		郵送
39	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	京都外国語大学		郵送
40	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	関西大学		郵送
41	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	関西国際大学		郵送
42	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	比治山大学、比治山大学短期大学部		郵送
43	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	宮崎国際大学		郵送
44	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	京都光華女子大学短期大学部		郵送
45	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	福岡医療短期大学		郵送
46	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	岐阜工業高等専門学校		郵送
47	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	小樽商科大学		郵送
48	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	新潟大学		郵送
49	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	神戸大学		郵送
50	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	福岡女子大学		郵送
51	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	工学院大学		郵送
52	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	津田塾大学		郵送
53	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	文化学園大学		郵送
54	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	武蔵野大学		郵送
55	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	東京工科大学		郵送
56	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	浜松学院大学		郵送
57	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	長崎短期大学		郵送
58	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	宇部工業高等専門学校		郵送
59	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	山形大学		郵送
60	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	茨城大学		郵送
61	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	東京外国語大学		郵送

番号	カテゴリ	大学名	備考	郵送／メール
62	APターマV 卒業時における質保証の取組の強化	高知大学	SPOD加盟校	メール
63	APターマV 卒業時における質保証の取組の強化	鹿屋体育大学		郵送
64	APターマV 卒業時における質保証の取組の強化	大阪市立大学		郵送
65	APターマV 卒業時における質保証の取組の強化	兵庫県立大学		郵送
66	APターマV 卒業時における質保証の取組の強化	千歳科学技術大学		郵送
67	APターマV 卒業時における質保証の取組の強化	東北公益文科大学		郵送
68	APターマV 卒業時における質保証の取組の強化	東日本国際大学		郵送
69	APターマV 卒業時における質保証の取組の強化	東京薬科大学		郵送
70	APターマV 卒業時における質保証の取組の強化	東京都市大学		郵送
71	APターマV 卒業時における質保証の取組の強化	日本福祉大学		郵送
72	APターマV 卒業時における質保証の取組の強化	大阪工業大学		郵送
73	APターマV 卒業時における質保証の取組の強化	日本赤十字九州国際看護大学		郵送
74	APターマV 卒業時における質保証の取組の強化	東海大学短期大学部		郵送
75	APターマV 卒業時における質保証の取組の強化	山梨学院短期大学		郵送
76	APターマV 卒業時における質保証の取組の強化	松本大学松商短期大学部		郵送
77	APターマV 卒業時における質保証の取組の強化	徳山工業高等専門学校		郵送
78	COC(中四国) ※平成25年度選定	鳥取大学		郵送
79	COC(中四国) ※平成25年度選定	島根大学		郵送
80	COC(中四国) ※平成25年度選定	広島大学		郵送
81	COC(中四国) ※平成25年度選定	香川大学	SPOD加盟校	メール
82	COC(中四国) ※平成25年度選定	高知大学	SPOD加盟校	メール
83	COC(中四国) ※平成25年度選定	山口県立大学		郵送
84	COC(中四国) ※平成25年度選定	広島修道大学		郵送
85	COC(中四国) ※平成25年度選定	島根県立大学		郵送
86	COC(中四国) ※平成25年度選定	島根県立大学短期大学部		郵送
87	COC(中四国) ※平成26年度選定	四国大学	SPOD加盟校	メール
88	COC(中四国) ※平成26年度選定	今治明德短期大学	SPOD加盟校	メール
89	COC(中四国) ※平成26年度選定	くらしき作陽大学		郵送
90	COC(中四国) ※平成26年度選定	倉敷芸術科学大学		郵送
91	COC+(中四国) ※平成27年度選定	岡山県立大学		郵送
92	COC+(中四国) ※平成27年度選定	広島市立大学		郵送
93	COC+(中四国) ※平成27年度選定	鳥取大学		郵送
94	COC+(中四国) ※平成27年度選定	島根大学		郵送
95	COC+(中四国) ※平成27年度選定	山口大学		郵送
96	COC+(中四国) ※平成27年度選定	徳島大学	SPOD加盟校	メール
97	COC+(中四国) ※平成27年度選定	香川大学	SPOD加盟校	メール
98	COC+(中四国) ※平成27年度選定	高知大学	SPOD加盟校	メール
99	SPOD加盟校	鳴門教育大学		メール
100	SPOD加盟校	香川県立保健医療大学		メール
101	SPOD加盟校	愛媛県立医療技術大学		メール
102	SPOD加盟校	高知県立大学		メール
103	SPOD加盟校	高知工科大学		メール
104	SPOD加盟校	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部		メール
105	SPOD加盟校	高松大学・高松短期大学		メール
106	SPOD加盟校	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部		メール
107	SPOD加盟校	松山大学		メール
108	SPOD加盟校	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学		メール
109	SPOD加盟校	徳島工業短期大学		メール
110	SPOD加盟校	香川短期大学		メール
111	SPOD加盟校	環太平洋大学短期大学部		メール
112	SPOD加盟校	松山短期大学		メール
113	SPOD加盟校	高知学園短期大学		メール
114	SPOD加盟校	阿南工業高等専門学校		メール
115	SPOD加盟校	香川高等専門学校		メール
116	SPOD加盟校	新居浜工業高等専門学校		メール
117	SPOD加盟校	弓削商船高等専門学校		メール
118	SPOD加盟校	高知工業高等専門学校		メール

※SPODホームページ、asagaoメールリングリストでも周知

※メール、郵送はSPOD事務局(愛媛大学)が行う。

事業評価シート①

大学設置基準の一部改正に伴う「SDの義務化」など、国全体の教育政策動向を踏まえ、SPODに期待することについて御意見をお願いします。

昨年の大学設置基準の改正施行に際して、文科省は次のような留意事項を付している。

- ・ 今回の改正は、個々の職員全てに対して一律に研修の場を設けることを義務付ける趣旨ではなく、SDの具体的な対象や内容、形態等については、各大学等において、その特性や実態を踏まえ、各職員のキャリアパスも見据えつつ、計画的・組織的に判断されるべきこと。
- ・ SDの機会については、各大学等が自ら企画して設けるほか、関連団体等が実施する研修に職員が参加する機会を設けることなどが考えられること。
- ・ SDを効果的・効率的に実施する観点から、各大学等において、その実情に応じ、例えば職員の研修の実施方針・計画を全学的に策定するなどの取組を行うことが期待されること。

一般には、SDの「義務化」といわれているが、文科省としてはそのような認識ではない。あくまでも各大学等の特性や実態、実情に応じた主体的な取組を期待している。

周知のように、いわゆるユニバーサル化が進行する中で、大学教育の課題も浮き彫りになってきているが、いまだに旧態依然たる教育手法が横行している。文科省や中教審は、管理運営面では学長の権限強化、教育面では3ポリシーの徹底やアクティブラーニングの推奨、学力の3要素の強調、FDやSDの推進など次々と施策を展開してきたにもかかわらず、いまだ表面的な改革にとどまっている感が強い。

「自発性原理」から「発達支援原理」への大学教育原理の転換が必要であると考えているが、この点での教職員の意識改革と能力開発が極めて不十分だと考えている。これを進めるためには、人手が多く必要となる。現在の各大学の財政状況ではそれを完全に保証するのは極めて困難である。幸か不幸か、最近の科学技術の急速な発達で、AIによって、10年・20年後には「事務」の仕事は専任の職員からほとんど解放されることになるといわれている。この際、大学「事務職員」は大学「職員」へと大きく飛躍するための知識や技能を身につけて、教育や研究、社会連携や大学経営・運営に直接的にかかわることができるようにしていかなければならないと考える。「義務化」をすれば外形的には「改革」が進むが、各大学で本質的な改革を行うには、その大学の教職員による主体的な取組がなければ確かな手ごたえを得ることができないだろう。

SPODは、創設当初から四国域内にとどまらず全国の大学職員のSD活動に大きな貢献をしてきたのは多くの大学関係者が認めるところである。今後を見通した職員の能力開発については、当面、学生の成長支援のための知識・技能の習得を目的としたプログラムの開発を行っていただけないかと考えている。多くの大学では、教員だけでは対応できない事態が進行しており、この点でのSPODの先駆的取組に期待したい。

事業評価シート②

SPOD設立当初からSPOD事業に携わっていただいたお立場を踏まえ、現在のSPODに対し客観的な視点で御意見ををお願いします。

SPODは設立されてもうすぐ10年が経つ。また、地域間大学連携は、専門分野別大学連携に比較すると運営が困難であることが明らかになっている。そのような困難や制約がある中、立ち上げ当初の加盟校数をほぼ維持し続けて、地域間大学連携事業が継続しているということ自体が、非常に高く評価できる。国内だけではなく、諸外国を見ても、このような規模でFDやSDに関わる連合体が10年以上存続している事例は稀であり、モデルになる取組みである。

その成功要因は、立ち上げ当初の事業設計が堅固なものであったことに加えて、愛媛大学をはじめとするコア校の教職員による献身的で絶え間ない組織運営の努力があったことにある。関係者の皆様の日々の業務ならびに地域の高等教育機関をオール四国で盛り上げようという使命感に、深く敬意を表したい。

以下、事業ごとの評価を記載する。

①SPOD フォーラム

この10年間で日本におけるFD、SDのハブとしての評価が定着したと言ってよい。とりわけ、SDは参加者が能力を高めた結果、講師をつとめるという循環ができあがっており、例を見ない持続的システムが魅力となっている。また非常に熱意のある教職員が全国から集まることから、SPOD内外の教職員交流の場として、双方に刺激のある機会となっている。将来構想にもあるように「国内最高の教職員研修の機会」を維持するために、有能な講師の確保、養成に力を入れていただきたい。また、悲願であった香川大学での開催が実現できることは大変喜ばしいことである。関係者のご尽力に敬意を表したい。

②講師派遣プログラム

他の連携事業において真似することができないのがこの事業である。講師が潤沢に存在しているSPODだからこそ実現可能なものである。小規模大学におけるのメリットはもちろん、講師にとっても、インストラクショナルスキルを伸ばす良い機会である。

③調査研究

SDでは学会でも発表がなされている。FDにおいても同様に共同研究の成果を学会などで発信することができればさらに良い。

④将来構想

各取組みにおいて、事業の継承と刷新が行われており、順調に事業が進んでいる。

⑤情報提供・広報活動

順調に事業が進んでいる。大学関係者にはSPODの存在が広く知れ渡っている。受験生や高校教員向けに何か広報はできないかを検討していただきたい。SPODという組織の宣伝ではなく、教職員がしっかりと学んでいる姿勢をどのように社会に伝えるか。

⑥FD 担当者研修

実施そのものに意義があるが、一日だけの研修だと限界がある。終了後のフォローアップの可能性、あるいは受講者のニーズについても検討するとよい。

⑦新任教員研修

遠くない将来において、日本の大学では新任教員研修の義務化が予想される。その際には、SPODでの実施事例がモデルになることが予想される。継続実施を期待する。

⑧TP

年間3回の実施は高く評価されるが、参加者数が非常に少ないことが気になる。管理職向けに、TPの活用、つまり業績評価においてTPを活用する意義について研修をすることが必要な時期ではないか。

⑨SDの実施

順調に事業が進んでいる。教務系の核となる「教育改革担当教職員向け研修」には期待したい。

⑩次世代リーダー養成ゼミ

順調に事業が進んでいる。プロジェクト発表資料も拝読したが、それぞれ業務に直結するプロジェクトの成果がしっかりと文章化されている。これだけの時間数を学習に使っているのであれば、文部科学省履修証明プログラムに認定されるのではないか。大学院化して、修士号を付与するという案もあるかもしれないが、制約も多くなる。というのも、リーダー養成ゼミ修了生が、学内で活躍するチャンスを少しでも増やすようにできることはないかを検討した方が良いと感じたからである。

⑪講師養成講座

順調に事業が進んでいる。授業デザインワークショップとの一部合同実施は良いアイデアである。

⑫SDC 認定

順調に事業が進んでいる。職員の専門性の向上が求められる時代において非常に意義深い取り組みであるので是非とも継続していただきたい。

⑬会議運営

順調に事業が進んでいる。

来年度は10周年ということもあり、祝賀イベントも考えられると良いかと思われる。同時に、この10年の成果と課題を振り返り、未来を展望する機会も必要であるように思われる。その際、ソーシャルインパクトという指標を用いて、可視化できない成果も含めて丁寧に評価をしていただきたい。SPODの意義は、設置当初に立てた計画遂行だけにとどまらない、日本の大学のイノベーションへの貢献という点にあると考えている。

事業評価シート③

SPODフォーラム2017の御視察を踏まえ、SPODに対する全体的な御意見をお願いします。

1. あらためてSPODフォーラム2017の視察を振り返って

- ・ 最初に、事業評価委員に対する今回の視察の機会提供そのものが、前年度事業評価委員会での意見を一定踏まえたものと知り、意見を受けての柔軟な見直しの状況がうかがえる。初めての参加だったので、その意味においても貴重な機会となった。
- ・ 2回目以上の参加者が約50%、3回目以上が約30%であることは、評価が定着している査証であり、残る初回参加者（約50%）を誘引している好循環がうかがえる。事前アンケートの参加動機の項目（活動報告書P29）に、例えば「過去の参加者（自身を含む）の評価が高いので」を設けるなどして、客観的にこのことを裏付けてはどうか。
- ・ 活動報告書P33の参加者要望にも記載があるが、1分科会の時間は2時間でなくもう少し長くすれば（2.5時間程度）、参加者の満足度がより高まるのではないか。このことは私を含む当財団参加者2名も同様の感想であった。
- ・ フォーラム参加者にとどまらず、開催県のコア校以外の加盟校職員がサポートスタッフとして運営参加することの影響が前向きに受け止められていることは評価できる。
- ・ 四国4県は地理的にも広範囲に及ぶが、加盟校以外からの参加者から見ると、四国としての一体感を感じる機会であった。
- ・ 徳島大学での開催は学内各会場が比較的コンパクトにまとめられ、総じて運営も手際のよさが感じられた。
- ・ 情報交換会でのポスターセッションの表彰や開催地の特色を活かした趣向を凝らした演出（阿波踊り）は、他の参加者との交流促進に一役買ったのではないか。

2. SPOD取組に対する全体的な意見

<SPOD事業の定量的指標達成度一覧（活動報告書P62～63）について>

- ・ SPODの取組全体を達成度（5段階）と前年度比（%）の両面から一覧的に俯瞰することができるよう工夫されている。
- ・ 「参加者数」の2指標のうちのひとつは、事業により加盟校全教職員数、同教員数、同職員数が基数となっており、達成度はどうしても1にしかならないが、その点については前年度比や別紙数値（P63）が併記されているので状況理解ができる。
- ・ SPOD事業全体をコンパクトに説明したり見せたりする必要のある際などには、有用な資料となると思う。

<SPODウェブサイトによる情報提供について>

- ・ 従前より、過去のSPODフォーラムの各プログラムにおけるスライド資料や配付資料、及びシンポジウムの概要が閲覧可能となっている。日程都合やプログラム重複で参加がかなわなかった希望者にとり、有効な配慮である。
- ・ 同様に、次世代リーダー養成ゼミナールの「プロジェクト実践ジャーナル」も公開されており、適切な情報提供である。

- ・ SPOD ネットワークコア運営協議会の内容は、多くの配布資料とともに一般ページで公開されており、加盟校専用ページでは次年度から原則すべての資料掲載が予定されている。これらを通して、加盟校内外における運営の透明性の確保と一層の情報共有が図られることになる。
- ・ 次年度から、ウェブサイトでの研修検索機能の強化と、連動しての研修プログラムガイドのウェブ一本化が予定されており、経費縮減にも寄与する措置である。
- ・ 今後、メールマガジンを通した一層の有意な情報発信や、対象を絞り込んだ上での研修の動画配信も検討に値するのではないか。

＜加盟傘下の私立大学の参加について＞

- ・ SPOD は文字通りコア校が、運営と各事業の参加に大きく寄与している。そのことは裏返すと、加盟傘下のコア校以外、とりわけ私立大学教職員の参加が少ないことを意味している。運営参加、事業参加両面における大学別参加状況の数値把握と、その結果に基づいた事業参加向上への改善策の検討が待たれる。このことの改善は、当該大学の教育力向上の積み上げにつながり、ひいては SPOD の底上げにつながることである。
- ・ 類似した意見となるが、例えば SPOD フォーラム参加者の、加盟校内外別、大学規模別、設置者別のアンケート集計ができれば、今後の運営改善の参考になるような面白い結果が得られるのではないか。

平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会議事概要

- 1 日 時 平成30年3月29日（木） 13:00～14:25
- 2 場 所 愛媛大学城北キャンパス総合情報メディアセンターメディアホール
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 議 長 愛媛大学 大橋裕一 学長
- 5 議 題

総会の開会に先立ち、SPOD事務局の神から四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約（以下「規約」という。）第9条第3項の規定に基づき、総会の議長は会長である愛媛大学長の大橋が務めることについて説明があり、異議なく了承された。

続いて、SPOD事務局の神から加盟校の過半数以上が出席しており、規約第9条第7項に規定する総会の開会要件を満たしている旨の報告があり、総会が開催された。

- (1) 平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の総括について
SPOD企画・実施統括者の小林から資料1に基づき、平成29年度事業の総括について説明があった。
- (2) 平成29年度事業収支及び会計監査について
SPOD事務局の神から資料2-1～2に基づき、平成29年度事業収支について説明があった。
引き続き、徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部の桐野学長から資料2-3及び参考資料1に基づき、平成30年3月29日に行われた会計監査結果について、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約及び四国地区大学教職員能力開発ネットワーク会計監査実施要領に基づき、適切に会計処理が行われている旨の報告があり、平成29年度事業収支が原案のとおり承認された。
- (3) 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約」の一部改正について
SPOD企画・実施統括者の小林から資料3及び参考資料3に基づき、「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約」の一部改正について説明があり、原案のとおり平成30年3月29日付けでの改正が承認された。
- (4) 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」への新規加盟について
SPOD企画・実施統括者の小林から資料4-1～3に基づき、岡山理科大学獣医学部及び人間環境大学松山看護学部の加盟申請について説明があり、原案のとおり平成30年4月1日付けでの加盟が承認された。
- (5) 共同事業契約の終了及び再締結について
SPOD企画・実施統括者の小林から資料5-1～2及び参考資料に基づき、岡山理科大学獣医学部及び人間環境大学松山看護学部の新規加盟に伴い、平成24年4月1日付け締結の共同事業契約を平成30年3月31日をもって終了させ、平成30年4月1日付けで共同事業契約を再締結したい旨の説明があり、原案のとおり承認された。

(6) 役員の改選について

SPOD企画・実施統括者の小林から資料6-1～2に基づき、高知大学長及び徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部学長改選に伴うSPOD役員の改選について説明があり、原案のとおり承認された。

(7) 平成30年度事業計画について

SPOD企画・実施統括者の小林から資料7に基づき、平成30年度事業計画（案）について説明があり、原案のとおり承認された。

(8) 平成30年度事業予算及び平成30年度共同事業契約における役割分担等について

SPOD事務局の神から資料8-1～2，資料5-2及び参考資料3に基づき、平成30年度事業予算（案）及び平成30年度共同事業契約における役割分担等（案）について説明があり、原案のとおり承認された。

(9) その他

①役員の改選について

SPOD企画・実施統括者の小林から資料9-1～2に基づき、香川大学長改選に伴う平成29年10月1日付けでの役員の改選に関する書面による総会審議結果について、報告があった。

②平成29年度各加盟校のFD／SD活動の取組報告について

SPOD企画・実施統括者の小林から資料10に基づき、平成29年度における各加盟校の取組について報告があった。

平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会 出席者名簿

機関名			役職名	氏名
徳島大学		代表者	学長	野地 澄晴
		陪席者	総合教育センター 講師	吉田 博
		陪席者	学務部教育支援課専門職員	金治 志津子
		陪席者	総合教育センター 特任研究員	上岡 麻衣子
鳴門教育大学		代表者	学長	山下 一夫
香川大学		代表者	理事・副学長(教育担当)	山下 明昭
		陪席者	大学教育基盤センター 能力開発部長	石井 知彦
		陪席者	大学教育基盤センター 准教授	佐藤 慶太
		陪席者	教育・学生支援室 学務グループリーダー	尾松 俊嗣
		陪席者	経営管理室 給与福利グループリーダー	澤井 行広
		陪席者	経営管理室 給与福利グループチーフ	石田 和一
愛媛大学		代表者	学長	大橋 裕一
		陪席者	理事・副学長／教育・学生支援機構長	弓削 俊洋
		陪席者	教育・学生支援機構副機構長／教育企画室長	小林 直人
		陪席者	教育企画室副室長 教授	中井 俊樹
		陪席者	教育学生支援部長	佃 雅之
		陪席者	教育学生支援部教育企画課長	神 智彦
高知大学		代表者	学長	脇口 宏
		陪席者	教授	塩崎 俊彦
		陪席者	講師	俣野 秀典
		陪席者	学務課長補佐	西田 浩敏
香川県立保健医療大学		代表者	FD・SD委員会委員長／教授	舟越 和代
愛媛県立医療技術大学		代表者	学長	橋本 公二
高知県公立大学法人	高知県立大学	代表者	副学長	五百蔵 高浩
	高知工科大学	代表者	副学長	清水 明宏
		陪席者	人事課長	森 晃彦
四国大学・短期大学部		代表者	学長	松重 和美
徳島文理大学・短期大学部		代表者	学長	桐野 豊
		陪席者	教務部 グループ長(香川キャンパス)	竹本 恵一
		陪席者	教務部 グループ長(徳島キャンパス)	新見 延安
高松大学・高松短期大学		代表者	学長	佃 昌道
聖カタリナ大学・短期大学部		代表者	学長	ホビノ・サンミゲル
		陪席者	聖カタリナ大学短期大学部 保育学科 教授	日野 幸子
		陪席者	就職課	蔵前 純二
松山大学		代表者	副学長	熊谷 太郎
		陪席者	教務部 次長	高橋 宏治
松山短期大学		代表者	学長	上杉 志朗
松山東雲女子大学・松山東雲短期大学		代表者	学長	塩崎 千枝子
		陪席者	事務部総務課長	岡田 洋人
徳島工業短期大学		代表者	学長	宮城 勢治
香川短期大学		代表者	事務局長 教授	福家 浩二
		陪席者	FD委員会副委員長 教授	岩永 十紀子
今治明德短期大学		代表者	幼児教育学科 講師	相澤 みゆき
		陪席者	事務部長	渡部 久利
環太平洋大学短期大学部		代表者	学長補佐	浅野 幹也
高知学園短期大学		代表者	幼児保育学科 教授(教務部長)	吉村 斉
		陪席者	事務局 次長	森原 誠二
阿南工業高等専門学校		代表者	教育開発推進室長, FD委員会委員長	松本 高志
香川高等専門学校		代表者	副校長 機械工学科 教授	木原 茂文
		陪席者	総務課課長補佐	十河 誠
新居浜工業高等専門学校		代表者	副校長	早瀬 伸樹
		陪席者	総務課課長補佐	原 直樹
弓削商船高等専門学校		代表者	教務主事	藤本 隆士
高知工業高等専門学校		代表者	校長	濱中 俊一
愛媛大学		陪席者	教育企画室 講師	村田 晋也
		陪席者	教育企画室 講師	清水 栄子
		陪席者	教育企画室 特任助教	丸山 智子
		陪席者	教育企画室 特任助教	小林 忠資
		陪席者	教育企画室 特定研究員	加地 真弥
		陪席者	愛媛大学SD統括コーディネーター	吉田 一恵
		陪席者	教育学生支援部教育企画課 副課長	河野 太志
		陪席者	教育企画課教育企画チームリーダー	五貫 恵美
		陪席者	教育企画課教育企画チームサブリーダー	藤原 力
		陪席者	教育企画課教育企画チーム	松崎 由里子
		陪席者	教育企画課教育企画チーム	八丈野 真子
		陪席者	教育企画課教育企画チーム	橋本 香央里
		陪席者	教育企画課教育企画チーム	國安 朋子

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約 (一部改正)

平成 20 年 10 月 18 日
制 定

(名称)

第1条 本会は、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education。以下「SPOD」という。）と称する。

(目的)

第2条 SPODは、四国地区の大学（四国地区に一部の学部等を置く大学を含む。）及び高等専門学校（以下「大学等」という。）の連携・協働により、地区内のFD／SD事業の推進と大学等の教育力の向上を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 SPODは、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) FD／SDプログラム等の調査研究及び開発
- (2) FD／SDプログラム等の共同実施及び共同利用
- (3) FDe r（ファカルティー・ディベロッパー）及びSDC（スタッフ・ディベロップメント・コーディネーター）の養成
- (4) 参加大学等間における職員派遣等による交流
- (5) その他SPODの目的を達成するために必要な活動

(加盟校)

第4条 SPODは、別表第1に定める加盟校をもって構成する。

2 四国地区の大学等で、SPODの目的及び事業に賛同するものは、第9条に定める総会の承認を経て、新たにSPOD加盟校となることができる。ただし、その大学等の所在する県のコア校の承認を得なければならない四国地区に一部の学部等を置く大学については、当該学部等単位で加盟するものとする。

3 SPODを退会する場合には、会長総会の承認を得なければならない。ただし、原則として退会する3ヶ月前までに会長に申し出るものとする。

(コア校)

第5条 加盟校のうち、別表第2に定める大学をコア校とする。

2 コア校は、共同でネットワークコアを形成して、第3条各号の事業を企画立案、実施するほか、各県内の加盟校からの意見の集約及び調整等を行う。

(その他の加盟校)

第6条 加盟校のうち、前条のコア校以外の大学等は、ネットワークコアの依頼に応じて、第3条各号の事業に参加する。

(代表校)

第7条 コア校のうち、1校をSPODの代表校とする。

- 2 代表校は、コア校の互選により選出する。
- 3 代表校の任期は2年とし、再任を妨げない。

(会長、副会長、監事及び企画・実施統括者)

第8条 SPODに、会長（1名）、副会長（3名）、監事（2名）及び企画・実施統括者（1名）を置く。

2 会長及び企画・実施統括者は、代表校から選出する。

- 3 副会長は、代表校を除くコア校から選出する。
- 4 監事は、コア校を除く加盟校から選出する。
- 5 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 6 会長は、SPODを代表する。
- 7 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 8 監事は、会計を監査する。
- 9 企画・実施統括者は、SPOD活動に係る企画及び実施を統括する。
- 10 補欠による会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、前任者の残任期間とする。
(総会)

第9条 SPODに、総会を置く。

- 2 総会は、加盟校をもって構成し、代表校が招集する。
- 3 総会の議長は、会長が務める。
- 4 議長に事故があるときは、議長があらかじめ指名する者がその職務を代行する。
- 5 加盟校は、当該加盟校を代表して総会に出席する者1名(以下「代表者」という。)を、事前に登録しなければならない。ただし、加盟校に所属する他の者が、事前に登録した者を代理し、又は総会に陪席することを妨げない。
- 6 総会は、次の事項を審議する。
 - (1) SPODの活動方針及び活動報告に関すること。
 - (2) SPODの規約に関すること。ただし、別表を除く。
 - (3) SPODの加盟及び退会に関すること。
 - (3-4) 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の選出に関すること。
 - (4-5) SPOD事業契約の役割分担に関すること。
 - (5-6) SPODの予算及び決算に関すること。
 - (6-7) その他全加盟校による審議が望ましい事項
- 7 総会は、加盟校の過半数が出席しなければ、開会することができない。ただし、加盟校は、審議事項があらかじめ決定している場合においては、事前の意見提出をもって出席に代えることができる。
- 8 総会の議事は、出席の加盟校の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
(ネットワークコア運営協議会)

第10条 SPODに、ネットワークコア運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会は、コア校をもって構成し、原則として月1回開催する。
- 3 協議会の議長は、企画・実施統括者が務める。
- 4 議長に事故があるときは、議長があらかじめ指名する者がその職務を代行する。
- 5 協議会は、次の事項を協議する。
 - (1) SPODの活動に係る企画立案及び実施に関すること。
 - (2) SPODの行う研究開発、人材育成等に関すること。
 - (3) その他SPODに係る重要な事項
- 6 協議会における協議概要及び配付資料は、原則として加盟校に配付する。
(事業評価委員会)

第11条 SPODに、協議会が作成した実績報告書を基に事業評価を行う事業評価委員会(以下、「委員会」という。)を置く。

- 2 委員会に関し必要な事項は、別に定める。
(事務局)

第12条 SPODの事務局は、代表校に置き、加盟校の協力を得て運営にあたる。

(会計)

第13条 SPODの事業経費は、加盟校からのネットワーク年会費及びその他収入をもって充てる。

2 監事は年1回の監査を行う。

(その他)

第14条 本規約に定めるもののほか、SPODの運営に関し必要な事項は、総会又は協議会が別に定める。

附 則

1 この規約は、平成20年10月18日から施行する。

2 この規約の施行後、最初に任命される第7条第1項の代表校の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、平成23年3月31日までとする。

3 別表は、新たな加盟校があった場合等に適宜改訂を行うものとする。

附 則

この規約は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成 年 月 日から施行する。

徳島大学
鳴門教育大学
香川大学
愛媛大学
高知大学
香川県立保健医療大学
愛媛県立医療技術大学
高知県立大学
高知工科大学
四国大学
徳島文理大学
高松大学
聖カタリナ大学
松山大学
松山東雲女子大学
高知短期大学
四国大学短期大学部
徳島工業短期大学
徳島文理大学短期大学部
香川短期大学
高松短期大学
今治明德短期大学
環太平洋大学短期大学部
聖カタリナ大学短期大学部
松山東雲短期大学
松山短期大学
高知学園短期大学
阿南工業高等専門学校
香川高等専門学校
新居浜工業高等専門学校
弓削商船高等専門学校
高知工業高等専門学校

別表第2 コア校

徳島大学
香川大学
愛媛大学
高知大学

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約 別表第1(第4条関係)の変更について

別表第1 加盟校
徳島大学
鳴門教育大学
香川大学
愛媛大学
高知大学
香川県立保健医療大学
愛媛県立医療技術大学
高知県立大学
高知工科大学
四国大学
徳島文理大学
高松大学
聖カタリナ大学
松山大学
松山東雲女子大学
高知短期大学
四国大学短期大学部
徳島工業短期大学
徳島文理大学短期大学部
香川短期大学
高松短期大学
今治明德短期大学
環太平洋大学短期大学部
聖カタリナ大学短期大学部
松山東雲短期大学
松山短期大学
高知学園短期大学
岡山理科大学獣医学部
人間環境大学松山看護学部
阿南工業高等専門学校
香川高等専門学校
新居浜工業高等専門学校
弓削商船高等専門学校
高知工業高等専門学校

別表第2 コア校
徳島大学
香川大学
愛媛大学
高知大学

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約(抄)

- 附 則
- この規約は、平成20年10月18日から施行する。
 - この規約の施行後、最初に任命される第7条第1項の代表校の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、平成23年3月31日までとする。
 - 別表は、新たな加盟校があった場合等に適宜改訂を行うものとする。

共同事業契約の終了及び再締結の合意について

平成 30 年 3 月 29 日
ネットワーク総会決定

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約第 4 条第 2 項に基づき平成 30 年 4 月 1 日付けで学校法人加計学園（岡山理科大学獣医学部）及び学校法人河原学園（人間環境大学松山看護学部）が四国地区大学教職員能力開発ネットワークに加盟するため、平成 24 年 4 月 1 日付けで締結した共同事業契約は、平成 30 年 3 月 31 日をもって終了とし、平成 30 年 4 月 1 日付けで共同事業契約を再締結するものとする。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿

任期：平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

※副会長（香川大学長）任期：平成 29 年 10 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
※副会長（高知大学長）任期：平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
※監事任期：平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

(平成 30 年 4 月 1 日現在)

会 長 大 橋 裕 一 愛媛大学長

副 会 長 野 地 澄 晴 徳島大学長

副 会 長 寛 善 行 ※ 香川大学長

副 会 長 櫻 井 克 年 ※ 高知大学長

監 事 田 村 禎 通 ※ 徳島文理大学・
徳島文理大学短期大学部学長

監 事 濱 中 俊 一 高知工業高等専門学校長

企画・実施統括者 小 林 直 人 愛媛大学学長特別補佐
教育・学生支援機構 教育企画室長

平成 30 年度 SPOD 事業計画

1. SPOD 共通事業

- ・ SPOD フォーラム
平成 30 年 8 月 29 日 (水) ～ 31 日 (金) (3 日間)
開催場所：香川大学
「全体テーマ：教職員のミニマムエッセンシャルズを考える」
トップリーダーセミナーを併せて開催
- ・ SPOD 内講師派遣 (加盟校単位 各 1 回 計 24 回) 開催場所：各加盟校
原則として、1 法人あたり 1 回とする。ただし、高等専門学校については、1 校あたり 1 回とする。
- ・ FD・SD に関する調査研究
- ・ SPOD 将来構想ワーキンググループ
- ・ 情報提供サービス
 - ① 研修プログラムガイド 2018 の発行 (年 1 回, リーフレット*及びホームページ掲載)
 - ② 平成 30 年度 SPOD 活動報告書の発行 (年 1 回, 冊子及びホームページ掲載)
 - ③ SPOD ホームページの管理・更新
 - ④ SPOD メールマガジンの発行 (月 1 回程度)
- ・ その他コア運営協議会で承認された事業, プログラム等

※ホームページのイベント検索機能を強化して利便性を高める一方,
印刷物の経費を抑制するため, リーフレット化を実施

2. FD 事業

- ・ FD 担当者研修 開催場所：香川大学
SPOD フォーラム 2018 において開催
- ・ 新任教員研修 (年 5 回) の実施・公開 開催場所：各コア校 (愛媛大学は 2 回実施)
- ・ ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ (年 2 回) の公開・実施
 - ① 全加盟校教員対象 (年 1 回)
開催場所：徳島大学
 - ② 高専対象 (年 1 回)
開催場所：愛媛大学
- ・ 各種 FD プログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校
研修プログラムガイド 2018 に掲載したプログラム

3. SD事業

- ・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（年4回）
開催場所：徳島大学，愛媛大学
レベルⅠ（新任職員研修） 1回（徳島大学）
レベルⅠ 1回（愛媛大学）
レベルⅡ 1回（愛媛大学）
レベルⅢ 1回（愛媛大学）
主担当：SPOD事務局 協力校：徳島大学，愛媛大学
- ・職務別能力開発研修（年5回）
SPODフォーラム2018等において開催
主担当：SPOD事務局 協力校：香川大学
- ・次世代リーダー養成ゼミナール（年4回）
開催場所：愛媛県，徳島県，高知県
主担当：SPOD事務局 協力校：各コア校
- ・職員のための講師養成講座（年1回）開催場所：愛媛大学
新任教員研修（愛媛大学）プログラムの一部受講等により実施予定
主担当：SPOD事務局 協力校：愛媛大学
- ・各種SDプログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校
研修プログラムガイド2018に掲載したプログラム

4. SPOD運営

- ①総会（年1回）
- ②ネットワークコア運営協議会（月1回程度）
- ③事業評価委員会（年1回）
- ④監査（年1回）
- ⑤その他
 - i. FD／SD分科会
 - ・FD分科会（年1回） 総会と同日開催
 - ・SD分科会（年1回） 総会と同日開催
 - ii. SPOD加盟校県内会議 四国各県において必要に応じて実施

平成29年度 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」

F D分科会 議事概要

- 1 日 時 平成30年3月29日（木） 15：30～16：30
- 2 場 所 愛媛大学城北キャンパス愛大ミューズ1階
アクティブ・ラーニングスペース2
- 3 出席者 別添出席者名簿のとおり
- 4 議 題

（1）F D専門部会について

塩崎F D専門部会長から資料1に基づき、平成29年度に開催された全3回のネットワークコア運営協議会F D専門部会について報告があった。

（2）S P O Dフォーラム2018について

香川大学石井教授から資料2-1～2に基づき、S P O Dフォーラム2018について説明があった。

（3）S P O D内講師派遣について

愛媛大学小林教授から資料3-1～5に基づき、平成30年度S P O D内講師派遣について説明があり、平成30年度実施プログラムに関する具体的な要望については、開催校と講師で積極的に事前調整をしていただきたい旨の依頼があった。また、本事業においては、時宜にかなったプログラムを提供できるよう、引き続き検討していきたい旨の説明があった。

（4）意見交換（グループディスカッション）

資料4及び参考資料1に基づき、S P O Dにおける「ファカルティ・ディベロッパー」（大学・学部等におけるF D推進の専門家）の資格認定制度の導入及び自大学等における取組内容、S P O Dに期待すること等をテーマとして、各グループで意見交換を行った。参加者からの意見等については別紙「F D分科会グループディスカッション成果」のとおりである。

（5）その他

徳島大学上岡特定研究員から、大学教育再生加速プログラムテーマI「アクティブ・ラーニング」に採択されている徳島大学を含む9校による情報発信サイト「アロ」について紹介があった。

平成29年度FD分科会グループディスカッション成果

平成30年3月29日(木)

愛大ミューズ1階 アクティブ・ラーニングスペース2

テーマ

1. SPODにおける「ファカルティ・ディベロッパー」(大学・学部等におけるFD推進の専門家)の資格認定制度の導入について
2. 自大学等における取組内容, SPODに期待すること等

【Aグループ】

- 大学の規模や教員数の関係で、体系的なプログラムに対して人員を派遣できるかどうか、FD担当者養成の課題として挙げられる。この課題については、オンライン教材の活用を含めてプログラムを作り、最終的に本人のポートフォリオなどを確認することにより、SPODがそのプログラム受講をオーソライズすることで解決できるのではないかな。
- プログラムを時間数で縛るのは、非現実的である。
- 現役及び次期のFD担当者にとって、資格はメリットとなる。特に、学内でFDを推進していくにあたり、自身の思い付きや私見ではなく、資格に基づいて活動しているというエビデンスとしても活用できる。ただし、有資格者に業務が集中してしまうデメリットも考えられる。
- 次期のFD担当者にとっては、前任者から引き継ぐ際、何をどこまで把握しておけばよいかという点で資格はひとつの指針となる。少なくともこれを踏まえておけば良いという基礎的知識が明示されることは、現役及び次期のFD担当者にとってもメリットになると考えられる。

【Bグループ】

- 資格として認定することで、役職が固定化してしまう可能性もデメリットとして考えられる。まずは「受講証明書」という形から始めてみて、数年先に「資格」への移行の有無について考えても良いのではないかな。

【Cグループ】

- 資格認定制度については、ないよりはある方が良い。
- FDに対して熱心な教員にとっては、資格として認定することで励みになると考えられる。
- 資格保有者に対し、大学としてインセンティブや評価制度を設けることはなかなか難しい面もある。
- 資格として認定することで、役職が固定化してしまうデメリットも考えられる。
- 一律の資格とするのではなく、レベル別に分けるなどして、資格を幅広いものにできるよう工夫してはどうか。

【Dグループ】

- FD担当者の設定よりも、全体的な底上げの方が大事なのではないか。e-learning 等を提供していただく仕組みが有効と考えられる。
- 教員評価システムが確立しており、その中で学生の授業評価をどのようにするかを各教員が考える仕組みとなっている場合、FD担当者が各教員を導いていくことが馴染まないという視点もある。
- 公立の大学などでは、県庁からの出向者が次々に異動するため、そもそも担当者の設定が難しく、FD専門委員会の委員長も任期満了に伴い交替していくため、継続して関わっていく仕組みを作ることが困難な面がある。

塩崎FD専門部会長及び愛媛大学小林教授から、この資格認定に関連して、SPODとしてFD担当の教員の相談に乗り、研修や授業のコーディネートができるよう、研修会の開催に加えて教科書の推薦やノウハウ、リソース等の提供を行うことを考えている旨の補足説明があった。意見交換の結果を踏まえ、SPOD内で引き続き検討していくこととした。

平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」FD分科会 出席者名簿

機関名	役職名	氏名
徳島大学	総合教育センター 講師	吉田 博
	総合教育センター 特任研究員	上岡 麻衣子
鳴門教育大学	理事	大石 雅章
香川大学	大学教育基盤センター 能力開発部長	石井 知彦
	大学教育基盤センター 准教授	佐藤 慶太
愛媛大学	教育・学生支援機構副機構長／教育企画室長	小林 直人
	教育企画室 講師	村田 晋也
高知大学	教授	塩崎 俊彦
	講師	俣野 秀典
香川県立保健医療大学	FD・SD委員会委員長／教授	舟越 和代
高知工科大学	副学長	清水 明宏
四国大学・短期大学部	学長	松重 和美
徳島文理大学・短期大学部	教務部 グループ長(香川キャンパス)	竹本 恵一
聖カタリナ大学・短期大学部	聖カタリナ大学短期大学部 保育学科 教授	日野 幸子
松山大学	副学長	熊谷 太郎
	教務部 次長	高橋 宏治
松山東雲女子大学・東雲短期大学	心理子ども学科心理福祉専攻 准教授	政本 香
徳島工業短期大学	学長	宮城 勢治
香川短期大学	FD委員会副委員長 教授	岩永 十紀子
今治明德短期大学	幼児教育学科 講師	相澤 みゆき
高知学園短期大学	幼児保育学科 教授(教務部長)	吉村 斉
阿南工業高等専門学校	教育開発推進室長, FD委員会委員長	松本 高志
新居浜工業高等専門学校	副校長	早瀬 伸樹
高知工業高等専門学校	アクティブラーニング教育センター長・教授	芝 治也

陪席

香川大学	教育・学生支援室 学務グループリーダー	尾松 俊嗣
愛媛大学	教育企画室 特任助教	小林 忠資
	教育企画室 特定研究員	加地 真弥
	教育企画課教育企画チームリーダー	五貫 恵美
	教育企画課教育企画チーム	松崎 由里子
	教育企画課教育企画チーム	橋本 香央里
高知大学	学務課長補佐	西田 浩敏

平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」
SD分科会 議事概要

- 1 日 時 平成30年3月29日（木） 15：25～16：35
- 2 場 所 愛媛大学城北キャンパス愛大ミュージズ3階 会議室
- 3 出席者 別紙出席者名簿のとおり
- 4 議 題

(1) SPOD-SDについて

① SD専門部会について

中井SD専門部会長から資料1に基づき、平成29年度に開催された全3回のネットワークコア運営協議会SD専門部会及び書面審議の内容について報告があった。

② SPOD-SDCの認定について

中井SD専門部会長から資料2及び参考資料1に基づき、SPOD-SDCの資格認定に関して、今年度新たに2名の教職員が認定された旨の報告があった。

③ 次世代リーダー養成ゼミナールの実施について

中井SD専門部会長から資料3に基づき、平成30年度以降の次世代リーダー養成ゼミナール日程の一部変更（研修日程の短縮等）について説明があった。

④ 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修の実施について

中井SD専門部会長から資料4-1～2に基づき、平成30年度の大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルI）【新任職員研修】について、5月9日（水）～11日（金）に徳島大学で開催予定の旨説明があった。

⑤ 職員のための講師養成講座の実施

中井SD専門部会長から、平成29年度開催された講師養成講座について、教員対象の「授業デザインワークショップ」と合同で実施された旨報告があった。

⑥ SPODフォーラムの実施について

中井SD専門部会長から、平成29年度開催されたSPODフォーラム2017の実施報告があった。

続いて、中井SD専門部会長から資料5及び6に基づき、SPODフォーラム2018の現時点での開催スケジュール（案）の説明があり、併せて開催校での香川大学 石田給与福利グループチーフより進捗状況の報告があった。

また、愛媛大学吉田SD統括コーディネーターから、今年度より新たに実施する「SD担当者研修」について説明があった。

⑦ SPOD内講師派遣プログラムの実施について

中井SD専門部会長から資料7-1～5に基づき、平成30年度のSPOD内講師派遣プログラムについて説明があり、平成29年度にSPOD内講師派遣プログラムを活用した加盟校の出席者から、講義に出向くことが難しい職員のために、プログラム映像の公開、または提供を行って欲しい旨の要望があった。これに対し、中井SD専門部会長から講義映像の貸与やWeb上での共有等、今後も要望があれば、検討していきたい旨、追加説明があった。

⑧ 情報提供・広報活動

中井SD専門部会長からプログラムガイドのリーフレット化、HPの検索機能強化について説明があった。

その他、加盟校の参加者から、自校におけるSPOD-SD活用の実際の状況及び報告があった。

(2) SDについての情報共有 ※各加盟校で意見交換（グループディスカッション）

意見交換に先立ち、中井SD専門部会長からSPODにおけるSDの特徴及び意見交換のテーマについて以下3点説明があり、各グループで意見交換が行われた。

- ① 所属機関のSDの実態と課題は？
- ② 所属機関におけるSPOD-SDの活用実態は？
- ③ 今後のSPODのSDへの期待と要望は？

参加者からの主な意見は以下のとおりである。

① 所属機関のSDの実態と課題は？

- ・ 役員の意識改革（国立大学協会、人事院等の役員研修との兼ね合いを見て実施）
- ・ SDの義務化がまだ組織内に浸透していない。
- ・ 学内外の研修の調整が困難な状況である。
- ・ 規模の小さい大学では資金面の問題からSD研修を行うことが困難である。
- ・ 通常業務がある中で職員を研修に参加させることが難しい。
- ・ SDの義務化が追いついていない状況で、SDとFDが別々に認識されている。
- ・ 次世代リーダー養成ゼミナールについて、若手職員の参加意欲が低下している。

② 所属機関のSPODのSDの活用の実態は？

- ・ 研修を受け持てる職員が多くなっているメリットがある。
- ・ 意識が高まり、リーダー育成に繋がっているという意見がある一方で、受講成果の可視化ができていない状況である。
- ・ 所属機関内でSPODのSD研修受講義務づけを行っている高等教育機関もある。
- ・ 次世代リーダー養成ゼミナールを受講することで昇進に繋がっている高等教育機関と、参加実績が業務に反映されていない高等教育機関で差がある現状である。

③ 今後のSPODのSDへの期待と要望は？

- ・通常業務が多忙な中で、職員の研修への参加負担が大きいため、職員が参加したことに対し、メリットを享受できるシステム作りを行って欲しい。
- ・講義に出向くことが難しい職員のために、研修映像の公開、または提供を検討して欲しい。
- ・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修について、これまでは受講した科目ごとに修了証を発行しているが、参加者が人事記録等に残せるよう、一つの研修として修了認定されるよう改善してはどうか。
→これに対し、中井SD専門部会長から今年度のアンケート結果を踏まえ、今年度から大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ～Ⅲ）のプログラム構成・講義時間を変更し実施予定であり、1回の研修で全ての科目を網羅的に受講可能になる旨追加説明があった。
- ・研修受講後に、人事評価や昇進に繋がる指標等の制度作り（見える化）を行い、研修参加意欲を促す好循環を作っていく必要がある。

（3）その他

中井SD専門部会長からSPOD内講師派遣プログラムに関して、希望する内容のプログラム等あれば要望をいただきたい旨呼びかけがあった。

平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」SD分科会 出席者名簿

機関名	役職名	氏名
徳島大学	総務部人事課長	濱田 光男
	総務部人事課副課長	荒木 俊典
鳴門教育大学	労務係長	廣島 哲也
香川大学	経営管理室 給与福利グループリーダー	澤井 行広
	経営管理室 給与福利グループチーフ	石田 和一
愛媛大学	教育企画室副室長 教授	中井 俊樹
	教育企画室 講師	清水 栄子
	教育企画室 特任助教	丸山 智子
	総務部人事課長	秋谷 恵子
	愛媛大学SD統括コーディネーター	吉田 一恵
	教育学生支援部教育企画課副課長	河野 太志
高知工科大学	人事課長	森 晃彦
徳島文理大学・短期大学部	教務部 グループ長(徳島キャンパス)	新見 延安
聖カタリナ大学・短期大学部	就職課	蔵前 純二
松山大学	総務部人事課長	石川 直美
松山東雲女子大学・東雲短期大学	事務部総務課長	岡田 洋人
香川短期大学	事務局長 教授	福家 浩二
今治明德短期大学	事務部長	渡部 久利
高知学園短期大学	事務局 次長	森原 誠二

愛媛大学	教育企画課教育企画チームサブリーダー	藤原 力
	教育企画課教育企画チーム	八丈野 真子
	教育企画課教育企画チーム	國安 朋子

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

(ネットワーク略称 **SPOD**=Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education)

学生の豊かな学びと成長を支援する、実践的力量をもった
高等教育のプロフェッショナルの輩出



SPODの概要

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)は、四国地区の32の国公立大学・短期大学・高等専門学校によって構成される教職員能力開発の大学間ネットワークです。平成20年度に文部科学省戦略的大学連携支援事業の採択を機に設立されました。本事業は平成22年度で補助金交付が終了しましたが、平成23年度から各加盟校の分担金による自主運営体制のもと、取組が継続されています。

SPODは、ネットワークの活動を通じて、学生の豊かな学びと成長を支援する実践的力量をもった高等教育のプロフェッショナルを輩出することを目指しています。4県に位置するネットワークコア校を中心に、加盟校が協力・連携して、教職員の能力開発(FD・SD)のプログラムやサービスを提供しています。

取組内容

四国地区に一部の学部を置く大学を含む。
この場合、学部等单位での加盟となる。

- 1 SPODフォーラムの開催
- 2 コンサルティング・講師派遣事業
- 3 FD・SDに関する調査研究

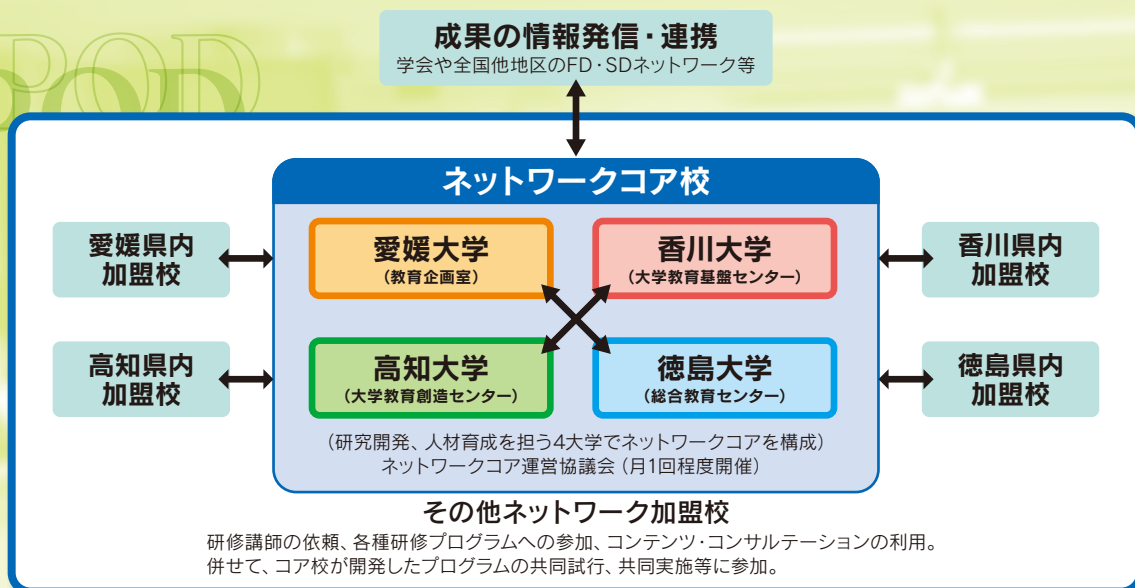
34の国公立大学・短期大学
(四国地区に一部の学部等を置く大学を含む。)及び高等専門学校

- 1 教職員の養成
- 2 新任教員研修の実施、公開
- 3 ティーチング・ポートフォリオ研修の実施
- 4 各加盟校におけるプログラムの公開

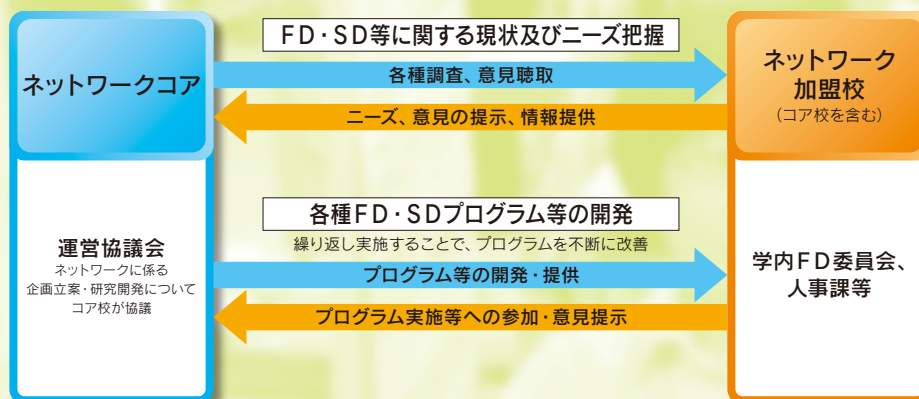
SD

- 1 SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施
- 2 次世代リーダー養成プログラムの実施
- 3 講師養成によるSDの継続的な実施
- 4 SPOD-SDCの輩出

ネットワーク運営体制



① ネットワークコア、加盟校間での連携



② 加盟校相互での連携

研修講師派遣、先進事例実地調査、遠隔会議システム等を活用した情報交換 等

フォーラム2017では参加者の97%から有意義又は満足との高い評価を得ている。

、2017(参加者延べ約1,430名)

■集中日程によるFD・SD研修を行うSPODフォーラムの実施

フォーラム 2009 (参加者延べ約 980 名)、2010 (参加者延べ約 1,000 名)、2011 (参加者延べ約 1,300 名)、2012 (参加者延べ約 1,400 名)、2013 (参加者延べ約 1,540 名)、2014 (参加者延べ約 1,300 名)、2015 (参加者延べ約 1,500 名)、2016 (参加者延べ約 1,470 名) を開催。フォーラム 2016 では参加者の 99%から有意義又は満足との高い評価を得ている。

■多種多様な研修プログラムの実施

加盟校が参加可能な FD・SD プログラムを網羅的に掲載した統一ガイドブック「研修プログラムガイド」を作成・配付することにより、平成 27 年度は延べ 2,500 名以上の教職員が参加した。

■FDプログラムの標準化

ネットワークコア校において、ほぼ共通の目標、内容、日程での新任教員研修を実施している。どのコア校の研修に参加しても同様の効果を得ることができる。

■教職員による

平成29年度は延べ2,400名以上の教職員が参加した。

教職員が、大学、短期大学、高等専門学校等のニーズを取り入れた SD マップを教職協働で完成させ、マップに基づき開発した研修プログラムを実施している。SD 研修プログラムを担当できる職員 (講師養成) を育成するための研修も実施し、SPOD で講師を務めている。



●小規模校が単独で開催することが難しい研修を実施

●FD・SDに関する最新の話題、課題、考え方などの情報の共有が可能

2018 Ver.への差し替え

平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」会計監査議事概要

- 1 日 時：平成30年3月29日（木）10：20～11：33
- 2 場 所：愛媛大学城北キャンパス愛大ミューズ3階会議室
- 3 出席者：（監 事）徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部 桐野 豊 学長
高知工業高等専門学校 濱中俊一 校長
（対応者）愛媛大学 小林直人企画・実施統括者，神智彦教育企画課長，
五貫恵美教育企画チームリーダー，藤原力教育企画チームサブリーダー，
松崎由里子教育企画課課員

会計監査に先立ち，監査方法及び事項の確認を行った。

5 監査事項

(1) 平成29年度予算執行状況について

① 経費の支出が適切な体制で行われているか。

SPOD事務局から，SPODにおける事業経費の会計処理について説明を行った。

SPODにおける事業経費の会計処理については，共同事業契約書第11条第1項に基づき，愛媛大学の会計規則に基づいて処理を行っている。会計処理手続きとしては，SPOD事務局担当者（教育企画課教育企画チーム）からの依頼により，会計担当者（教育企画課総務チーム）を経由して，財務部経理調達課が最終的に会計処理の適正確認を行ってから支払いの手続きが行われている旨の説明を行い，適切な体制で経費の支出が行われていることの確認が行われ，了承された。

② 適切に経費が支出されているか（講師の選び方，委託業者の選定等）

SPOD事務局から，各研修等の講師の選定に当たっての選定方法等について説明を行った。

研修では，高等教育に関する第一人者，当該分野の専門家の方を講師に依頼している。また，講師の選定に当たっては，研修の趣旨・目的，内容等を踏まえ，講師としてふさわしい経歴，実績があるかなどを検討した上で決定している旨の説明を行い，了承された。

③ 事業計画と支出の整合性がとれているか。

SPOD事務局から，資料に基づき事業経費について説明した。なお，予算執行見込みを考慮し，コア運営協議会で審議，了承の上，教職員の能力開発や講師内製化のための能力開発費，SPOD各コア校で共通して使用するテキスト購入費，研修プログラムガイド見直しに伴うSPODホームページ改修費を支出した旨の説明を行い，了承された。

④ 経費削減可能な支出はないか。

SPOD事務局から，経費の節減として，各種研修実施の際に，教職員が公用車に乗り合わせて移動するなど経費削減に努めている旨の説明を行った。

(2) 前年度の会計監査における指摘事項の改善状況について

SPOD事務局から、前年度の会計監査における指摘事項の改善状況について説明を行い、改善状況についての確認が行われ、了承された。

(3) 事業実施状況について

① 事業計画どおりに事業が進捗しているか。

SPOD事務局から、資料に基づき事業の実施状況について説明を行い、順調に事業が進んでいることの確認が行われ、了承された。

② 代表校及びコア校の事業が適切な実施体制で行われているか。

SPOD事務局から、事業の実施体制についての説明を行い、代表校を含め、各コア校においてFD／SD担当者が中心となって各種プログラムの企画実施に取り組んでおり、事業が適切な体制で行われていることを確認し、了承された。

(4) その他

濱中監事より、「SDの義務化」や「SDの定義」等の大学設置基準等への対応について、SPODとしての将来的な方向性について意見があり、SPODが実施する研修の多くは、基本的には教員・職員どちらも参加できることとしており、これらが受講者へ伝わるよう、FD／SD等の表記を引き続き工夫していくこととした。また、大学の執行部に特化した研修の実施については、国立大学協会の研修等からノウハウを取り入れるなどして、今後検討することとした。

また、桐野監事より、SPODには、大学、短期大学、高等専門学校等、様々な設置形態の教育機関があり、今後はさらに専門職大学の加盟も想定されるため、その特色を生かし、SPODの活動を産業界にアピールすることを中長期的に検討してはどうかとの発言があった。

プログラム一覧

		※1				※2		※3		
日 程	プログラム名	開催校	対象	遠隔	新規	レベル・フェーズ			申込方法 直接申込	プログラム 番号
						マイクロ	ミドル	マクロ		
4月2日(月)	大学授業入門	高知大学	FD			I・II			●	Y-001
4月5日(木)	会議マネジメント	愛媛大学	FD			I・II			●	I-001
5月8日(火)	ジグソー学習法入門	愛媛大学	FD			I・II			●	I-002
5月9日(水)～ 11日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム 研修(レベルI)第1回【新任職員研修】	徳島大学	SD							T-001
5月10日(木)	学生の学びやすさと学習意欲を高める 授業設計-課題分析図の活用-	愛媛大学	FD/SD			I・II・III	I・II	I・II	●	I-003
5月10日(木)	効果的なグループワークの進め方	愛媛大学	FD			I・II			●	I-004
5月17日(木)	アクティブラーニング入門セミナー	愛媛大学	FD/SD			I・II			●	I-005
5月17日(木)	効果的なeラーニングの活用方法(超入門編)	愛媛大学	FD			I・II	I	I	●	I-006
5月18日(金)	学習評価の基本	愛媛大学	FD			I・II			●	I-007
5月30日(水)～ 6月1日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)	愛媛大学	SD							I-008
6月14日(木)	大学のガバナンスの理解	愛媛大学	FD/SD		新規			I	●	I-009
6月14日(木)	カリキュラム・マネジメント	愛媛大学	SD		新規					I-010
6月15日(金)	教職協働の高度化	愛媛大学	FD/SD		新規	I・II			●	I-011
6月15日(金)	OJTの実践	愛媛大学	SD		新規					I-012
6月16日(土)～ 17日(日)	授業設計ワークショップ	徳島大学	FD			I・II				T-002
6月28日(木)～ 29日(金)	大学人・社会人としての基礎力 養成プログラム研修(レベルII)	愛媛大学	SD							I-013
6月30日(土)～ 7月1日(日)	授業デザインワークショップ(第30回)	愛媛大学	FD			I・II				I-014
7月7日(土)	ティーチング・ポートフォリオ更新ワークショップ	愛媛大学	FD			II・III				I-015
7月7日(土)～ 8日(日)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ (全加盟校教員対象)	愛媛大学	FD			II・III				I-016
7月19日(木)～ 20日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)	高知大学	SD							Y-002
8月9日(木)	プロジェクトマネジメント	愛媛大学	FD			I・II			●	I-017
8月20日(月)	講義のための話し方入門	愛媛大学	FD/SD			I・II			●	I-018
8月29日(水)～ 31日(金)	SPOD フォーラム 2018	香川大学	総合			I・II III・IV	I・II III・IV	I・II	●	K-001
9月4日(火)	3つのポリシー(ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、 アドミッションポリシー)の開発と一貫性構築手法(遠隔配信のみ)	愛媛大学	FD/SD★	遠隔 配信			III	III		I-034
9月4日(火)	大人数講義法の基本(遠隔配信のみ)	愛媛大学	FD★	遠隔 配信		I・II				I-019
9月4日(火)～ 5日(水)	学生の学びを支援するための 授業準備ワークショップ	高知大学	FD			I・II				Y-003
9月5日(水)～ 7日(金)	ティーチング・ポートフォリオ作成 ワークショップ	徳島大学	FD			I・II・III			●	T-003
9月5日(水)～ 7日(金)	授業デザインワークショップ(第31回)	愛媛大学	FD			I・II				I-020
9月5日(水)～ 7日(金)	職員のための講師養成講座	愛媛大学	SD							I-021
9月6日(木)	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた 授業デザイン-考え方と進め方-	高知大学	FD			I・II			●	Y-004

※1 対象について ■…FD「主に教員対象」 ■…SD「主に職員対象」 ■…プレFD「大学院生・学部生対象」

■…FD/SD「教職員対象」 ★…遠隔配信のみのため愛媛大学内では受講不可

※2 レベル・フェーズについては、ナカ面の「主に教員の方へ」ページ下部の「SPOD-FDプログラムのレベルについて」をご覧ください。

※3 申込方法については、裏表紙の「各種研修プログラムのお申し込み方法について」をご覧ください。申込不要とあるものでも、一部セッションにおいては申込が必要な場合もあります。

日 程	プログラム名	開催校	対象	遠隔	新規	※2 レベル・フェーズ			※3 申込方法	プログラム 番号
						ミクロ	ミドル	マクロ	直接 申込	
9月6日(木)	はじめてみよう!アクティブ・ラーニング	高知大学	FD			Ⅱ			●	Y-005
9月7日(金)	グループワークの技法	高知大学	FD			I・Ⅱ			●	Y-006
9月11日(火)	学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナルデザイン(ID)入門-ARCS動機づけモデルの活用-	愛媛大学	FD/SD			I・Ⅱ・Ⅲ	I・Ⅱ	I・Ⅱ	●	I-022
9月13日(木)	eラーニング活用(入門編)-学習支援システムMoodleを活用してきめ細やかな学習支援を実現しよう-	愛媛大学	FD/SD			I・Ⅱ			●	I-023
9月13日(木)～ 14日(金)	新任教員研修会 「よりよい授業のためのFDワークショップ」	香川大学	FD			I・Ⅱ				K-002
9月13日(木)～ 15日(土)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ (高専対象)	愛媛大学	FD			Ⅱ・Ⅲ				I-024
9月13日(木)～ 15日(土)	アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	FD			Ⅱ・Ⅲ				I-025
9月18日(火)	動画教材作成法	愛媛大学	FD/SD		新規	I・Ⅱ			●	I-026
9月19日(水)～ 21日(金)	大学人・社会人としての基礎力 養成プログラム研修(レベルⅢ)	愛媛大学	SD							I-027
9月25日(火)	始めよう!アクティブラーニング型授業 -協同学習・話し合いの技法編-	香川大学	FD			I			●	K-003
9月25日(火)	始めよう!アクティブラーニング型授業 -協同学習・教え合いの技法編-	香川大学	FD			I			●	K-004
9月26日(水)	始めよう!アクティブラーニング型授業 -協同学習・問題解決の技法編-	香川大学	FD			I			●	K-005
9月26日(水)	始めよう!アクティブラーニング型授業 -協同学習・図解の技法編-	香川大学	FD			I			●	K-006
9月27日(木)	始めよう!アクティブラーニング型授業 -協同学習・文章作成の技法編-	香川大学	FD			I			●	K-007
9月27日(木)	初心者のためのクリッカー講座	香川大学	FD			I			●	K-008
9月27日(木)	TA・SA講習	高知大学	プレFD			I			●	Y-007
9月27日(木)～ 28日(金)	ファシリテーション力養成道場	高知大学	プレFD			I・Ⅱ			●	Y-008
10月31日(水)～ 11月2日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)	愛媛大学	SD							I-028
11月8日(木)～ 9日(金)	大学人・社会人としての基礎力 養成プログラム研修(レベルⅠ)第2回	愛媛大学	SD							I-029
12月7日(金)～ 8日(土)	スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	SD							I-030
12月13日(木)	学生の授業時間外学習を促す シラバス作成法	愛媛大学	FD/SD	eラーニング あり		I・Ⅱ・Ⅲ	I・Ⅱ	I・Ⅱ		I-031
12月26日(水)	大学教育カンファレンスin徳島	徳島大学	総合			I・Ⅱ Ⅲ・Ⅳ	I・Ⅱ Ⅲ・Ⅳ	I・Ⅱ	申込 不要	T-004
1月23日(水)	シラバスブラッシュアップワークショップ	高知大学	FD			I・Ⅱ			●	Y-009
1月24日(木)～ 25日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第4回)	徳島大学	SD							T-005
2月18日(月)	英語で授業をしたい教員のための ワークショップ	愛媛大学	FD			I・Ⅱ			●	I-032
3月26日(火)	新任教員のためのリフレクションセミナー	高知大学	FD			I・Ⅱ			●	Y-010
3月26日(火)	能動的学修支援者必須! グループワークのためのファシリテーション入門	高知大学	FD			I・Ⅱ			●	Y-011
3月29日(金)	TA・SA講習	高知大学	プレFD			I			●	Y-012
3月中	愛媛大学教育改革シンポジウム	愛媛大学	総合			I・Ⅱ Ⅲ・Ⅳ	I・Ⅱ Ⅲ・Ⅳ	I・Ⅱ	申込 不要	I-033

プログラム内容等の詳細は、SPODホームページ(<https://www.spod.ehime-u.ac.jp>)に掲載しています。内容をご確認の上、お申し込みください。

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）

平成30年度 大学人・社会人としての 基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ） 【新任職員研修】

日 時 / 平成30年5月9日（水）～5月11日（金）
※日程の詳細は別紙「研修日程表」のとおり

場 所 / 徳島大学 日亜会館2階 講義室（徳島市新蔵町2丁目24番地）

対 象 / 新任職員（平成29年4月2日～平成30年4月1日採用の職員）

受講定員 / 80名

主 催 / 徳島大学，四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）

研修目的

高等教育機関の職員として一般的に求められている広汎な
素養を習得することを目的とする。

到達目標

◆大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修の
科目一覧と各科目の到達目標は下記URLからご確認ください。

URL : <https://www.spod.ehime-u.ac.jp/wt/calendar/detail/964>

◆研修を修了した方には修了証書を発行します。

研修内容

大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）のうち、
6つの研修科目を実施する。

- | | |
|---------------|-----------------|
| ✿ 高等教育職員入門 | ✿ メンタルヘルス・セルフケア |
| ✿ コミュニケーション入門 | ✿ ビジネスマナー入門 |
| ✿ タイムマネジメント論 | ✿ 危機管理入門 |

担当講師

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 副室長・教授

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 特任助教

愛媛大学 教育学生支援部 愛媛大学SD統括コーディネーター・能力開発室長

愛媛大学医学部人事労務課 課長

徳島大学総務部総務課総務係 係長

高知大学総務部総務課法規係 係長

鳴門教育大学経営企画部企画課評価係 主任

徳島文理大学香川キャンパス入試広報部 事務主任

中 井 俊 樹

上 畠 洋 佑

吉 田 一 恵

久 保 秀 二

根ヶ山 須美子

井 上 慎 二

三 木 俊 介

板 東 博 士

受講者の声

同期や同じ立場の職員と業務の悩みや状況を共有し、語り合うことができて不安が解消された！

他校の職員との繋がりができた！今後業務をする上で有利だと思う。

◆研修を受講して良かったと思った点はなんですか？

- ・他大学の人と交流ができ、新たな人脈が築けた
- ・自分の知識や普段の業務を振り返り、再確認できた
- ・グループワークで他者の意見が聞けることで見解が広がった



◆各講義を受講して良かったことはなんですか？

✿ 高等教育職員入門

- ・高等教育を取り巻く現状等、知らない知識を身につけることができた。
- ・今後の大学職員として自身のあるべき姿を考えることができた。

✿ メンタルヘルス・セルフケア

- ・自分自身の心の状態を知ることができる良いきっかけになった。
- ・自分のメンタルヘルスについて自覚できた。

✿ コミュニケーション入門

- ・コミュニケーション大切さに改めて気づけることがあった
- ・自身の業務に直結するコミュニケーションの手法を学べた。

✿ ビジネスマナー入門

- ・ビジネスマナーについて最初に学ぶべきことを学べて良かった。
- ・マナーについて業務中に迷うことが多かったため参考になった。

✿ タイムマネジメント論

- ・時間の使い方が上手ではなかったため、優先順位の付け方や、計画的に時間を使うために手帳を使うなど具体的な方法が知れて良かった。

✿ 危機管理入門

- ・危機管理入門は初めて受講したため勉強になった。
- ・他大学で起こった事件・事故を自大学のことと捉える必要性を学べた。

「知ってるつもり」「分かっているつもり」が間違いだったと気付かされた。新たな発見の場となった。



新任職員の皆さんを
お待ちしております・・・✿

- ✿ 新任職員として最低限必要な知識を学びたい！
- ✿ 日頃何気なく行っている業務を見直したい！
- ✿ 普段の業務では学べないことを教えてほしい！
- ✿ 四国内の高等教育機関職員と交流を深めたい！



平成30年度次世代リーダー養成ゼミナール実施要項

1. 目 的

将来、所属大学でのトップリーダーや高等教育界のリーダーとして大学等の経営を担うために必要な知識、技能、態度を身につけた人材を養成する。

2. 到達目標

【知識】大学等の経営に必要となる以下のことができる。

- ・高等教育に関する理論・知識を応用することができる。
- ・経営管理・戦略、財政管理・戦略、危機管理に関する理論・知識を応用することができる。
- ・リーダーシップに関する理論・知識を応用することができる。

【技能】上記の知識を利用して、大学等の大局的な運営に必要となる以下のことができる。

- ・情報収集・分析を行うことができる。
- ・企画策定・提案を行うことができる。
- ・判断を行うことができる。
- ・折衝・調整を行うことができる。
- ・後継者育成を行うことができる。

【態度】

- ・リーダーとしてふさわしい行動をとることができる。
- ・立場の違う構成員と協力して働くことができる。
- ・地域や高等教育界のニーズに応えることができる。

※本ゼミナールの詳細については、別紙1「次世代リーダー養成ゼミナール概要」及び別紙2「次世代リーダー養成ゼミナール科目一覧」をご参照ください。

3. 開催日

(第1回)	平成30年	5月30日(水)～	6月1日(金)	(愛媛大学)
(第2回)	平成30年	7月19日(木)～	7月20日(金)	(高知大学)
(第3回)	平成30年10月31日(水)～	11月2日(金)	(愛媛大学)	
(第4回)	平成31年	1月24日(木)～	1月25日(金)	(徳島大学)
(第5回)	平成31年	5月29日(水)～	5月31日(金)	(場所未定)
(第6回)	平成31年	7月18日(木)～	7月19日(金)	(場所未定)
(第7回)	平成31年10月30日(水)～	11月1日(金)	(場所未定)	
(第8回)	平成32年	1月23日(木)～	1月24日(金)	(場所未定)

※本ゼミナールのプログラムは、2年間で8回(2泊3日×4回, 1泊2日×4回の予定)実施する。

※本ゼミナールのプレプログラムとして「スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ」を平成30年5月18日(金)に愛媛大学にて実施予定。詳細は後日お知らせします。

4. 場 所

(第1回) 愛媛大学城北キャンパス 愛大ミュージズ3階(愛媛県松山市文京町3)

5. 対象者

以下の条件を満たす者。

- ・SPOD加盟校職員で、原則40歳以下の者。
- ・各機関の長が推薦する者。

ただし、定員に達しない場合に限り、以下の者の受入れを可とする。

- ・SPOD加盟校以外の職員。
- ・各機関の長以外からの推薦による者。
- ・スタッフ・ポートフォリオを作成し、受講申し込み時に提出できる者。
※別紙3「スタッフ・ポートフォリオ記入例」をご参照ください。
- ・受講にあたっての抱負が明確であり、受講申込時に文書（2,000字程度）で提出できる者。
- ・SPOD研修プログラムのレベルⅡ程度を修了した者、または、それと同等の能力があると認められた者。
※各機関においては受講者を選抜する段階で、面接等を実施してください。
※2年間で修了要件である全日程の9割以上出席可能な者を推薦してください。
※SPOD加盟校の職員は、修了後にSPODのSD講師として御協力願います。

6. 募集人員

12名

- ・各機関より複数受講を希望する場合は、優先順位を付す。
- ・SPOD加盟校外の職員の推薦は、1機関あたり2名までとする。

7. 研修料

SPOD加盟校の職員は無料。SPOD加盟校外の職員は別に定める研修料が必要になります。

8. 講師（予定）

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	副室長・教授	中井 俊樹
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	講師	清水 栄子
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	講師	仲道 雅輝
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	特任助教	上畠 洋佑
愛媛大学教育・学生支援機構学生支援センター	講師	阿部 光伸
愛媛大学教育・学生支援機構学生支援センター	講師	丸山 智子
愛媛大学教育学生支援部愛媛大学SD統括コーディネーター・能力開発室長		吉田 一恵
桜美林大学大学院大学アドミニストレーション研究科	教授	山本 眞一
岡山理科大学	副学長・教授	秦 敬治
名古屋大学高等教育研究センター	准教授	中島 英博
福岡大学教育開発支援機構	講師	橋場 論
京都大学国際戦略本部	担当部長	山本 淳司
中京大学学術情報システム部情報システム課	係長	大津 正知 他

9. 修了要件

- ・原則として全日程の9割以上出席すること。
- ・全ての課題（レポート、プレゼンテーション、ディスカッション、実践等）を完遂し、合格すること。
- ・最終口頭試問で合格すること。
- ・全てのプログラムについてA～Dの4段階で評価し、総合判定A～Cの評価を得ること。

10. 主 催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）